

香港株式市場フラッシュ

アリババ集団の6事業分割と各事業の IPO 期待

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2023年4月5日号(4月5日作成)

”アリババ集団の6事業分割”

アリババ集団(9988/香港)は3/28、市場競争力と企業価値向上のため同社を6事業グループ分割し各事業が独立した経営を行う新組織体制に再編すると発表。

6事業は、「中国(Taobao Tmall)コマース事業」、「グローバル・コマース事業」、「中国ローカルサービス事業」、物流に係る「ツァイニャオ・ネットワーク事業」、「クラウド事業」、「デジタルメディアおよびエンターテインメント事業」であり、中国コマース事業のみ例外的にアリババグループの完全子会社となるものの、6事業グループにはそれぞれCEOが着任して取締役会が設立される。アリババグループは持株会社となり、6つの事業グループにはそれぞれCEOが着任して取締役会が設立される。各事業は資本調達やIPOを目指すための柔軟性を有するとされている。

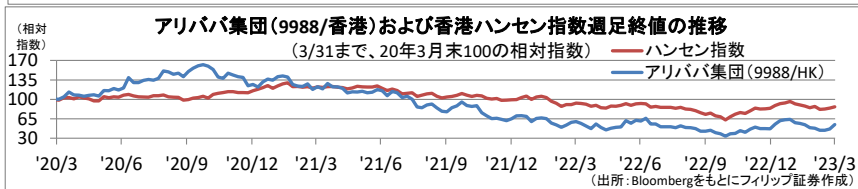
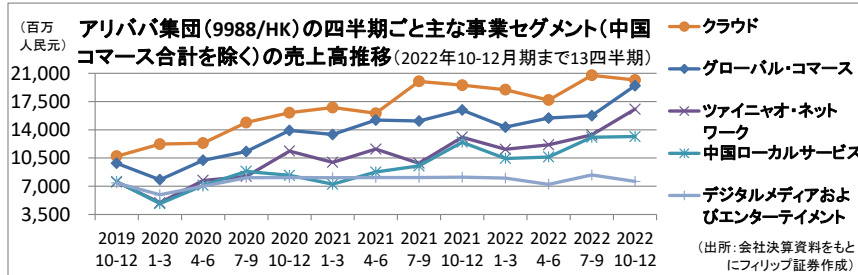
”各事業のIPOと全体企業価値向上の可能性”

2023年3月期3Q(10-12月)の四半期決算は、全体では売上高が前年同期比2.1%増の2477億元、非GAAPの調整後純利益が同11.9%増の499億元、調整後EBITDA(利払い・税引き・償却前利益)マージンが同3ポイント上昇だった。

上記の事業セグメント別業績は以下の通り。①中国コマース事業は、売上高が前年同期比1%減の1699億元、調整後EBITDAが同1%増の586億元。②グローバル・コマース事業は、売上高が同18%増の194億元、調整後EBITDAが同▲29億元から▲7億元へ赤字幅縮小。トルコのEコマース大手トレンドリアルが注文数を伸ばした。③中国ローカルサービス事業は、売上高が同6%増の131億元、調整後EBITDAが同▲50億元から▲31億元へ赤字幅縮小。④ツァイニャオ・ネットワーク事業は、売上高が同27%増の165億元、調整後EBITDAが同▲92百万元から▲12百万元へ赤字幅縮小。海外物流ネットワークの拡張および「ラスト・ワン・マイル」の強化に注力した。⑤クラウド事業は、売上高が同3%増の201億元、調整後EBITDAが同2.7倍の4億元。日本をはじめサウジアラビアやドイツ、タイ、韓国でデータセンターを新規開設するなど海外プレゼンスを強化。⑥デジタルメディアおよびエンターテインメント事業は、売上高が同6%減の75億元、調整後EBITDAが同▲13億元から▲25百万元へ赤字幅縮小である。

物流子会社が担うツァイニャオ・ネットワーク事業は、香港市場へのIPO準備を開始と報じられたなか6事業の中で最も増収率が高く四半期での調整後EBITDA黒字まであと少しまで迫っており、IPOの成功確率も高いと考えられる。その他の事業についても、調整後EBITDAでは主力の中国コマース事業が減益のほかは赤字幅縮小または増益と改善傾向を示した。また、同社は「ChatGPT」のような人工知能(AI)ツールを開発中で内部試験を実施中。データセンター事業への追い風が期待される。

同社株価は足元で20年10月の過去最高値から約7割下落し、予想PER(株価収益率)が約12.6倍、PBR(株価純資産倍率)が1.84倍。事業分割により中国政府からの規制圧力の緩和に加え、「コングロマリット・ディスカウント」の解消によるグループ企業価値顕在化への期待も高まろう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全94銘柄)における終値の2022年末末騰落率

前回基準日: 20230321 基準日: 20230404

順位	2022年末末騰落率・上位10銘柄 (%)	前位	
1	金山軟件 [キングソフト]	54.4	8
2	SenseTime Group Inc(商湯集団)	46.8	5
3	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	35.0	6
4	联想集团 [レノボ・グループ]	33.2	12
5	華虹半導体 [ファホン・セミコンダクター]	33.2	2
6	百度 [バイドゥ]	31.4	1
7	China Literature Ltd (閱文集団)	31.4	10
8	中国移動 [チャイナモバイル]	26.9	4
9	中国石油化工 [シノベック]	24.9	3
10	中芯国際集成电路製造 [SMIC]	24.7	16

順位	2022年末末騰落率・下位10銘柄 (%)	前位	
94	CG SERVICES (碧桂園服務)	-32.5	94
93	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-31.3	92
92	JDDットコム	-24.4	93
91	Meituan (美团)	-23.4	91
90	葉明生物技術 [ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-22.3	88
89	JD Health International Inc (京東健康)	-21.4	86
88	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-21.3	87
87	金蝶国際軟件集団 [キングディー・Int'lソフトウェア]	-20.0	80
86	Kuaishou Technology (快手)	-19.9	90
85	阿里健康信息技術 [アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-15.8	75

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2023年4月中国主要経済指標】

- 3月27日(月)
 - ・2月工業利益: 前回▲4.0%、結果▲22.9%(1-2月)
 - 4月1日(土)
 - ・3月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回52.6、結果51.9
 - ・3月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回56.3、結果58.2
 - 4月3日(月)
 - ・3月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.6、結果50.0
 - 4月6日(木)
 - ・3月(財新)サービス部門PMI: 前回55.0
 - 4月7日(火)
 - ・3月外貨準備高: 前回3.133兆USD
 - 4月9日(木)・15日(水)
 - ・3月資金調達総額: 前回3.160兆元
 - ・3月新規人民元建て融資: 前回1.810兆元
 - ・3月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+12.9%
 - 4月11日(火)
 - ・3月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+1.0%
 - ・3月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲1.4%
 - 4月13日(火)
 - ・3月貿易収支: 前回+780.1億USD
 - ・3月輸出<前年同月比>: 前回▲6.8%
 - ・3月輸入<前年同月比>: 前回▲10.2%
 - 4月15日(土)
 - ・3月新築住宅価格<前月比>: 前回+0.3%
 - 4月18日(火)
 - ・1-3月GDP<前年同月比>: 前回+2.9%
 - ・3月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.5%
 - ・3月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+2.4%
 - ・1-3月固定資産投資<前年同月比>: 前回+5.5%
 - ・1-3月不動産投資<前年同月比>: 前回▲5.7%
 - 4月20日(木)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回+3.65%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回+4.30%
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。